

衣川区

幾多もの伝説に思い巡らせ

霧山伝承シンポジウムとウォーキング

さまざまな伝説が残る衣川区の霧山をテーマとした催しが11月7日に開かれ、山周辺のウォーキングや伝承にまつわるシンポジウムが行われました。

霧山は、南股川の川内ダムにある山。霧がかかりやすく洞穴があるため、「忍者や鬼のすみかだった」「達谷窟とつながっていた」という伝説が残っています。南股地区センターで開かれたシンポジウムでは、霧山の物語の紹介や、衣川の伝承をテーマとした討論会が行われ、参加者は物語の世界へ思いをはせていました。

さまざまな意見が飛び交った討論会



除幕された記念碑の前で厳かに神事が行われました

胆沢区

豊かな農地と環境を後世に

国営いさわ南部農地整備事業が完工

平成10年度に着工した国営いさわ南部農地整備事業の完工記念碑除幕式が12月1日、いさわ産直センターあじさい敷地内で行われました。

小山地区から若柳地区にかけて、水田と畑の合計1,046畝を整備し、高台に広がっていた小区画水田は、平均50㍍区画の潤う農地に変ぼう。『恵環豊郷』の記念碑と約150人の出席者を前に、事業施行委員長の本庄力男さんは「この農地や景観を後世に残すため取り組んだ」と事業開始当時を振り返っていました。



順調な成長を願い、参加者は丁寧に苗木を植えました

前沢区

ふるさとの里山を漆産地へ

生母生産森林組合が苗木2700本を植栽

生母生産森林組合（大石喜清組合長）は11月16日、前沢区生母字雨請石地内で漆植栽記念式を開きました。これは、平泉を象徴する漆芸を側面から支援し、世界遺産登録を応援しようと企画されたものです。

地域住民や組合員ら約60人が参加。組合が所有する約1.8畝の傾斜地に、八幡平市浄法寺の漆育苗家の指導を受け、漆の苗木2,700本を丁寧に植えました。組合では、今後植栽面積を拡大し、将来は漆かき職人も育成する予定。漆産地形成へ夢は広がります。

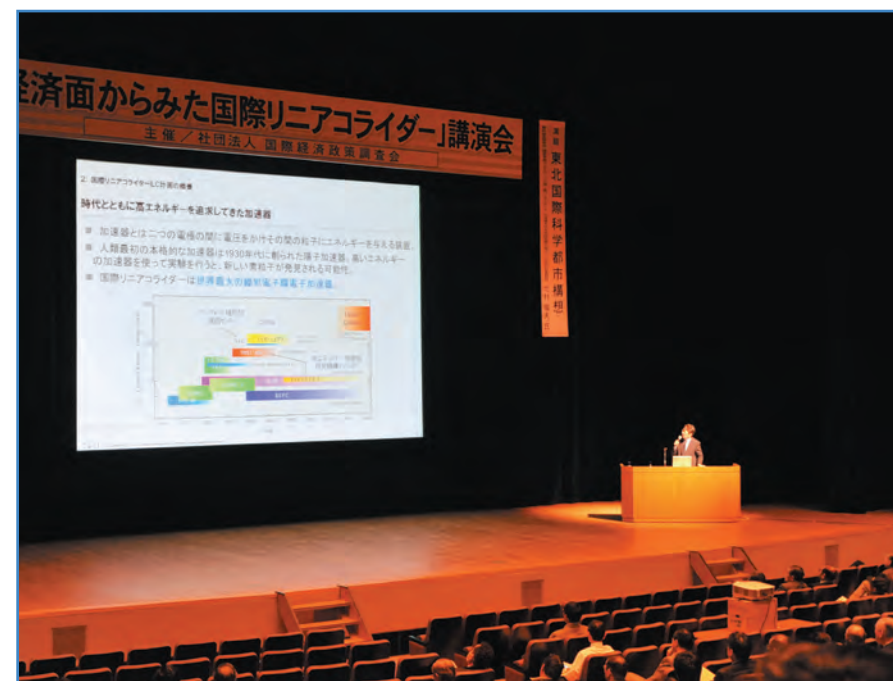
自分たちが育てたお米でおにぎり作り



水沢区

地元への経済効果、期待大

国際リニアコライダー講演会



ILCが地域経済に与える影響は計り知れない

市を含む北上高地が建設候補地の1つになっている、国際リニアコライダー（ILC）。そのILCを経済面から考える講演会が11月6日、市文化会館で行われました。鶴野村総合研究所の石井良一氏と北村倫夫氏を講師に迎え、ILCが建設された場合、この地域に与える経済波及効果や、まちづくりへの影響について解説していただきました。

ILCが建設された場合、世界中から研究者が集まることで国際学術都市が形成され、関連施設の建設なども含めて、5兆円以上の経済効果が見込まれます。ILCがこの地域にもたらす計り知れない効果に、会場に集まった約700人の市民は、期待に胸を大きく膨らませました。

江刺区

甘いみつの香りに包まれて

第1回江刺りんごまつりを開催

J A江刺とりんご部会が主催する「第1回江刺りんごまつり」が11月27日・28日、えさし藤原の郷で開催されました。13日の初競りで100万円（サンふじ28玉）の値を付けた江刺りんご。会場は、大勢の江刺りんごファンで、にぎわいを見せていました。

りんごや加工食品の販売、りんごジュースの無料配布、料理コンクール受賞作の試食など、さまざまなイベントが行われ、甘い香りのする中、大勢の人々が江刺りんごを満喫していました。



沢ありりんごの詰め放題に悪戦苦闘



いさわジュニアリーダーズクラブ「サボテン」は家でできる手遊びを披露

胆沢区

みんなで手遊びできるかな

おはなしこんにちわスペシャル

読み聞かせグループによる「おはなしこんにちわおまつりスペシャル」が11月14日、胆沢文化創造センターで開催されました。これは、本に親しむことで幼児の情緒をはぐくもうと、読み聞かせを勧める胆沢図書館が企画したものです。

市内から約80人の親子らが参加し、大型紙芝居や体操、手遊びなどを楽しみました。母親や妹と一緒に来場した若柳小1年の菊地元太くんは「ラーメンたいそうが楽しかった」と笑顔を見せていました。